

## G7 サミットにおける選択

クロダイインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

G7 サミットにおいて、完全に自由主義陣営と決別し、アジアの統一体における世界への参加を表明する。これらはアメリカへの従属を完全に放棄し、国家の独立を宣言するものである。

これらは、日本国が独自プレゼンスを行うことは、世界の現実を一変させるのである。これにアジア統一体は、独自外交交渉を南米、ヨーロッパ、ロシア、アフリカへ提案し、新しい世界の秩序を提案する。

これら多数において、国際連合から新しい世界の運営形成へ移行することを宣言する。

他方においては、新世界秩序における現実が存在し、我々は明確にこれらに対峙するものである。

これらは全軍力の展開とともに、現実へ対峙し、世界を2分するものである。

2分化された世界は、異なる理念を有することになる。その相違性は、人々の選択を与え、これらが革命を放棄し、北風と太陽のように、世界を与えるものである。

これらは、G7 が対立と混乱を有することになる。しかし明確に世界の未来と正論を提示することで、良識と良心における対話を要求すべきである。

全ての理想と理念を提案することは、世界の未来という共有の合意を実現すべきである。

また決別を恐れず、自己の主張を求め、アジア統一体とともに、世界における自己プレゼンスを確立する。

